

令和 7 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	国際公開臨海実習Ⅲ		
実習内容 海洋の生物多様性と生態系機能は、乱開発、富栄養化、沿岸開発、外来種、地球規模の気候変動など、人間活動による複数のストレスによって、世界中で急速に低下している。海洋生物と生態系の応答を理解し、海洋・沿岸域のより良い管理を行うためには、これらのストレスに対する海洋生物の応答を、分子、細胞、生物、個体群、群集、生態系など様々なレベルで統合的に理解する必要がある。本実習は、海洋生物の構造や動態を複数のレベルで観察・理解する機会を提供するものである。北海道東部の海洋生態系について、特に動植物プランクトン、海洋哺乳類、および海洋生態系と陸域生態系の関連性に焦点をあてて学ぶ。これらの題材をもとに、参加者が将来的に国際的な視野をもった研究提案を行うことを目指す（この実習は英語で行う、日本語によるサポートあり）。 ① 実習観測船による親潮域の海洋観測、②陸域からの物質供給の影響の観測、③海洋哺乳類の行動観測、④グループでの課題研究・成果報告			
実習内容キーワード	沿岸生態系、動植物プランクトン、海洋哺乳類、陸と海の相互作用、物質循環		
担当教員氏名・所属・役職名	仲岡雅裕・北方生物圏フィールド科学センター・教授 伊佐田智規・北方生物圏フィールド科学センター・准教授 鈴木一平・北方生物圏フィールド科学センター・特任助教		
協力教員氏名・所属・役職名	西川淳・東海大学・教授 Elizabeth Madin・ハワイ大学マノア校・准教授		
対象学生・学年	学部 3～4 年生、 および大学院生	開講期間	7 月 22 日(火)～26 日(土) (22 日夕方集合、26 日午前解散)
開講大学・施設名	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所		
施設の住所	〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠 1 番地		
電話	0153-52-2056	F a x	0153-52-2042
e-mail	nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp	Web Site	http://www.fsc.hokudai.ac.jp/ak keshi/
交通案内	釧路空港から空港連絡バスで約 45 分、JR 釧路駅下車。釧路駅から JR で厚岸駅まで約 50 分、駅からタクシーで臨海実験所まで 17 分約 2,000 円。JR 厚岸駅からバス（本数少ない）では 15 分「国泰寺」下車、実験所まで徒歩 25 分。札幌（新千歳空港）からは JR で釧路駅まで特急で約 4 時間、高速バスで約 5 時間。		
費用	宿泊費と食費 3 食分、その他雑費を含めて合計約 10,000 円。		
授業科目名	特別実習（国際公開臨海コースⅢ）		
単位数	1	定員数	8
授業料の徴収について	国立大学および協定のある公立私立大学の学生は所定の書式による申請により授業料は不徴収とする。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超えた場合は書類選考を行う。申込〆切は実習開始日の 2 か月前。定員に満たない場合は追加募集を行う（実習開始日の 1 か月前まで）。また、定員に余裕がある場合は、学部 1、2 年生の受講も受け付ける。		
選抜結果連絡法	本人に郵送（連絡可能者は E-mail）で仮通知。後に理学部から正式通知を郵送。		